

化学療法(6日間入院)を受けられる方へ

担当医()

担当看護師()

	投与当日	2日目(月 日)～5日目(月 日)	6日目(月 日)退院
達成目標	①急性期嘔吐・便秘について理解できる。 ②体重管理の重要性が理解できる。	①2kgを超える体重増加や呼吸苦がない。 ②嘔吐など副作用の管理ができる。	①予定の治療が終了する。 ②退院後の副作用の管理が理解できる。 ③栄養摂取が可能な状態である。
薬剤 注射 検査 処置	・持参薬は看護師に渡してください。 ・入院後、体重測定と10時半までに検尿・採血を行ないます。 その後13時頃、点滴開始予定。 ・点滴開始の際は、看護師2人で確認を行ないます。	10時に退院できるよう点滴調整をします。-----→ 	
安静度	特に制限はありません。		
食事/水分	特に制限はありません。場合によっては治療食の事もあります。		
留置物	点滴の針を留置します。漏れや痛み等あれば、適宜入れ替えをします。		点滴終了後、抜針。
清潔	シャワー可能 -----→		
排泄	排尿後は水流しを2回行なって下さい。(抗がん剤投与後、48時間)		
観察	・点滴の観察(刺入部の腫れや赤み・痛み・水疱など) ※漏れや・痛み等あれば、適宜入れ替えをします。 ・吐き気等の自覚症状 (左記に加え食欲不振や下痢・便秘・浮腫などの自覚症状)		
教育・説明	・体温食事量控え用紙の手渡し・説明があります。 ・手洗い・うがいの説明 ・排尿に関し手の説明	朝6時に体重測定をし、用紙に記入をお願いします。-----→	
持ち物	できるだけ袖口の広いパジャマをご用意下さい。 入院後、記入用紙がありますので筆記用具の持参をお願いします。		

個々の状態により変更する事がありますのでご了承下さい。なお、ご不明な点がありましたら遠慮なくスタッフにご相談下さい。

上記について説明を受けました 年 月 日 患者又は家族署名:

説明者署名:

三菱京都病院 腫瘍内科 2014. 8 改訂